

こむ1会 2023 年度第 7 回運営委員会 議事録

日時:2024 年 3 月 11 日(月)13 時 35 分~15 時 30 分

場所:ぷらざこむ 1:21A 会議室

進行:第 1 班 司会進行:藤田 記録:浮津

委員:第1班:平井(おあや座)、田中(市サ連)、大森(でえくさんず)、矢野(ポップリンガーズ)、藤田(エコネット)

第2班:三島(個人)、中小路(壁がなければ)、湊(ちようちょ)、丸山(櫻守の会)、吉田(中途難聴者の会)

第3班:榎本(信天翁)、門内(うらら宝塚)、中所(自然保護協会)、宮本(防災リーダーの会)

第4班:栗山(第 6 地区民児協)、村中(個人)、松崎(歌楽多)、本田(平和と人権)、畑中(おはなしのさんぽみち)

第5班:森本(武庫ネイチャー)、上沼(ピリーブ)、榎本(里親会)、金子(はっぴーばーばら)、谷田(すみれの会)

(選出母体のグループ名称は略称)

1. 出席確認

・運営委員の欠席:9 名

平井(おあや座)、中小路(壁がなければ)、吉田(中途難聴者の会)、門内(うらら宝塚)、村中(個人)

畑中(おはなしのさんぽみち)、森本(武庫ネイチャー)、榎本(里親会)、谷田(すみれの会)

・代理出席:浮津(ポップリンガーズ)、小林(平和と人権)

・zukavo:大関 財団:岡本

・その他:東(zukavo 運営委員)、加藤(宝塚ろうあ協会会長)

2. 連絡/報告事項

A)こむ 1 会

(ア) 外部会議出席の報告

・受付ボランティア会議(2 月 24 日):消防避難訓練の相談と報告があった(三島)

・宝塚市社会福祉協議会評議委員会:令和 5 年 12 月定例の報告(東)

詳細につき報告がありました。別紙『会議出席の報告』を参照

・宝塚ボランティアプラザzukabo 運営委員会:令和 5 年度第 4 回の報告(東)

詳細につき報告がありました。別紙『会議出席の報告』を参照

・事例発表会の報告(東)

詳細につき報告がありました。別紙『会議出席の報告』を参照

* zukavo 運営委員会についてのまとめ(東)

(イ)会計から (藤田)

コム 1 会のプリンターに「トナーがありません」と表示されるがまだ印刷できるためそのまま使用してください。近日中に購入します。

B) zukavo (大関) 別紙参照

報告・連絡事項

(1) 令和6年度のボランティア保険の加入について 4月1日～有効にする場合3月中加入要

(2) 令和5年度ボランティア活動助成報告書・令和6年度助成金申請〆切日について

報告書締切日: 令和6年4月12日(金)12時まで

申請書締切日: 令和6年4月20日(土)17時まで

(3) まちライブラリーの取り組み終了について 3月15日に終了することとなった

(4) zukavo 運営委員会の報告 運営委員半数交代、助成金枠増「スタートアップ助成金」

(5) 令和6年能登半島地震に係る被災地支援についての報告

七尾市の災害ボランティアセンターの運営支援に参加(3/4~3/11) ボランティア1日最大80人

ニーズは自宅内の破損した家財道具の運び出し片付け等多数あり、人手不足であった

依頼事項 zukavo 運営委員(現、東さん退任に伴う後任)の推薦依頼

実際にぶらざこむ1でボランティア活動をしている方1名(こむ1会を代表するわけではない)

C) 公益財団法人プラザ・コム (岡本) 別紙参照

報告事項

(1) エレベータのスクリーン工事をを行い完了した

(2) 活動スペース2のエアコンが故障

交換時期は4月頃予定 工事中活動スペース2と印刷室は2日間使用できない

(3) 自動販売機の故障している件 3月19日(火)本体入れ替え

(4) 通用口(zukavo 前)に自動カーテンを設置しました 喫茶コーナー横の通路も設置予定

(5) 消防避難訓練 3月11日 こむ1会運営委員会の後、14:30~

訓練の流れの説明が行われた

・館内放送→自動放送→自動放送→避難誘導・避難→避難場所ガーデニング広場→消火栓訓練

→反省会

→今回の消防訓練は3月11日の運営委員会で役割分担等提示してもらうことで実施します

3. その他

宝塚ろうあ協会会長の加藤さんから、旧優生保護法裁判最高裁宛署名の協力依頼があった。

(手話通訳は、市サ連の田中さん)

4. 議事/承認

A) zukavo 運営委員推薦について(藤田)

こむ1会のメンバーに公募した結果「点字友の会」の足立シゲ子さんが立候補されたので承認された。

B) 消防避難訓練について(三島)

今までは、防災小委員会にて行われていたが小委員会が解散したため施設改善小委員会に組み込まれました。

今回から主体は公益財団法人プラザ・コム。こむ1会は協力する形で消防避難訓練を実施します。

・各階避難誘導担当者を決める(ぶらざこむ 1 消防避難訓練参照)

5. 各小委員会からの情報共有

① 交流小委員会

・昨年フェスにて金銭授受があったグループからは純利益の 1 割をいただきましたが、この件に関し総会でチラシ代や運営費が必要であれば、こむ 1 会の皆で負担するべきではないかという意見がありました。

今年度はどうするのかを次回の実行委員会にて決めることになるため、事前に皆様の様々なご意見をメールにて送って下さい。

・フェスのチラシ作成や広報活動に関して、広報小委員会と一緒に行っていきたいのでよろしくお願ひします。

★フェス実行委員会 3 月 16 日(土)10:00～

★次回運営委員会 4 月 10 日(水)13:30～15:30 21A 会議室

<<消防避難訓練>>

→14 時 30 分より消防避難訓練実施

消防避難訓練マニュアルに沿って避難誘導及び消火器訓練、消火栓の説明が行われた

→15 時 20 分より反省会にて消防署員からみた感想が述べられた

・館内放送で発火場所を伝えていなかった。火が発生した場所を把握することで火元を避けて避難誘導が行えるため、発火場所は伝える必要が有る。

・消防避難訓練と消防設備点検を同日に行うと、実際に水が出せるので自動火災報知設備を有効に使える。

・消火栓は 1 人で操作できる。バブルをひねると水が出る。消火したらバブルを閉めて終了。

・消防通報訓練では通報設備の横に住所、電話番号、従業員人数等通報に必要な情報を記載しておく。事前情報があると消火活動がスムーズに行われる。